

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	40% (R4 27%)	自校A B層の割合	45% (R4 11%)

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究（「学習課題の提示の「導入」から、見直しをもつ「展開」、自力解決に焦点を当てた「松小授業スタンダード」）と連携した全教職員における研究授業の実践 ・年2回の自己申告における授業観察・協議における省察 ・教科担任制の導入や授業参観を相互に行う体制づくり ・「読書科ノート」を活用した調べる学習に向けての教職員研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学力向上プロジェクト」（朝の15分間、ランチスタディのレベル別の個別指導）の確立 ・年3回のベーシックドリルの取組による前年度までの内容の定着 ・全学年、業者による診断テストの実施及び分析と対策 ・全学年、国語「音読」「暗唱活動」の取組⇒「松小暗唱コンクール（仮称）」の実践 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミライシードを活用した家庭学習の取組（毎日実施） ・各学年の発達段階に応じて、家庭学習の取組紹介⇒学級において児童へ周知、学年だよりにおいて紹介）
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・導入から自力解決の「支援を必要とする児童向け」のパターンの作成 ・苦手分野の個別把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・CD層を中心とした放課後補習による基礎・基本の確立 ・算数の導入5分間の「計算タイム」による既習事項の確認 ・レベル別の個別指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミライシードやチームスを活用した個別支援 ・個に応じた問題の精選（家庭と連携して実施）
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・「松小授業スタンダード」の確実な定着 ・学校評価「学校の勉強が分かりますか」と肯定的に回答する児童の割合を80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京ベーシックドリル」の診断テスト8割達成の割合を80%以上 ・「全国学力調査」「業者テスト」算数の本校平均点を区平均以上 ・学校評価「学校の勉強が分かりますか」と肯定的に回答する児童の割合を80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力調査「授業時間以外の勉強時間」が1時間以上の回答割合を80%以上 ・学校評価「毎日の宿題にすすんで学習に取り組む」と肯定的に回答する児童の割合を80%以上